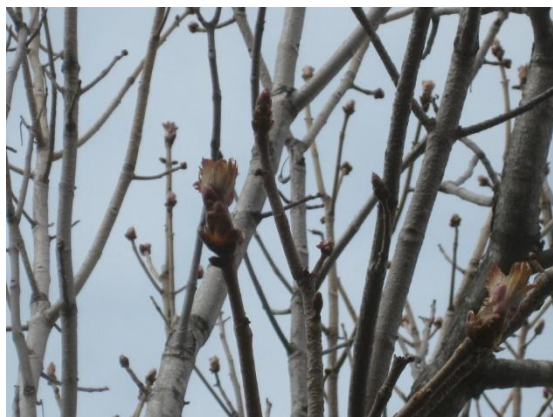


栃の木からの手紙

2018年 6月号



5月2日の桜の開花後不安定な天気となり畑作業が殆ど出来なかった5月上旬。そんな天候とは裏腹に百花繚乱に向かう草花。山野庭園のほんの一輪の花にさえ癒され救われるところ。数年前の桜の頃、婿さん夫婦が張ってくれたビニールハウスに自分で育てたトマトの苗を定植してから入院した人。数日後私は、ビニール製の花瓶と2, 3本のピンクのカーネーションを持って見舞いに行った。その後見舞った時、彼女は「花から物凄い光が出て部屋中を舞っていた。」と、真剣に話してくれた。

6月 水 無 月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

6日： 芒種

14日： 新月 旧 5月 1日

21日： 夏至

23日： 自然農法畑 観察会 13時半～1時間位

28日： 満月 旧 5月 15日

半月もして「最後に一度位見舞いに行かないとな。」という人を車に乗せて病院へ。私は訳も分からず病室まで小さな重たい箱を持ち、その人は包んだ花と私の持っていた箱を病人の家族の方に渡した。ガラスの花瓶に活けられた沢山の花々は、着色された様で決して気持ちの良いものでは無かった。病人の傍らで施術を施しているその人に、何故か病人の彼女は施術を遣り返していた。翌日私が見舞いに行くと花は無く、「花瓶は落ちて割れた。」という。決して残念では無く、在るべき姿に成った自然界。

5月末に亡くなられた人。あれから何年経ったろうか？縁在る多くの人たちが亡くなり、私から離れて行った。

今年漸く副会長が2名立ちました。

5月27日 大豆播種体験 開催

参加者は無でしたが、大豆播種終了後にハト害から大豆を守る為に大豆畑をパオパオ（白いシート）で覆えるだけ覆いました。16本在る大豆の畝の内13本を覆う事ができ、何が何でも今年は大豆を収穫するぞ！ハトには「意地悪」と言われそうですが大丈夫、秋には屑が落ちるから。

昨年播種した黒大豆の残り（28年産）10kg程で、残った自然農法の畑を黒大豆畑にすることができました。



5月 20日に行われた

「ホワイトアスパラ で 地中探検 」フェイスブック (FB) の投稿の様子

「ホワイトアスパラ で 地中探検 2018/5/20」

昨日は、町内のオホーツク高橋農場へ行き、初のホワイトアスパラ収穫体験。

ホワイトアスパラと普通のアスパラの違いを教わったり、

太陽光が届かない宇宙みたいな空間の中でアスパラが育つなんて、

それって宇宙食に適した食物ではないですか・・・

などと思いながら暗闇の中でアスパラを収穫。

天気も良くて、楽しい体験でした!!!

また来年も参加したいです。



[いいね!](#) [他のリアクションを見る](#)

[コメントする](#) [シェアする](#)

46 [奈〇〇〇子さん](#)、[北〇〇喜さん](#)、他 44 人

[シェア](#) 1 件

[コメント](#)

[他 1 件のコメントを表示](#)



[円〇 〇子](#)

[管理する](#)

[いいね!](#) [他のリアクションを見る](#)

・ [返信](#) ・ [1 週間前](#)



[稲〇 〇〇](#) 来年参加してみたいですね 😊 □ 星空観測付きを楽しみにしています 🎵 □



[円〇 〇さん](#) が返信しました ・ [返信](#) 1 件



[Ka〇 Ya〇〇](#) あたしも参加したかったあ!!

ホワイトアスパラとグリーンアスパラの違い

今度、教えてくださいね!!



[円〇 〇子](#) ホワイトアスパラとグリーンアスパラの違い…。

なんとそれは!!!

・・・・・・・・・・・・・続く。

「遺伝子組換えではないという表示が消滅する」

岡本 よりたか

5月25日 11:32



「遺伝子組換えではない」という表示を見つける事がある。納豆や豆腐に多い。

これは任意表示といって、記載義務はないが、企業は「遺伝子組換えではない」と書かないと遺伝子組換え食品と思われるので、豆腐や納豆には表示している。

この表示基準は遺伝子組換え作物の混入が5%以下であり、分別生産流通管理(IPハンドリング)の証明書がある場合だ。

分別生産流通管理とは、遺伝子組換え作物とそうではないものとを、明確に分離して、栽培や流通、管理しているという事である。

さて、国産の大豆やトウモロコシならば、基本、遺伝子組換え作物が混ざる事はない。なぜなら、国内では栽培されていないからである。そのため、国産の大豆やトウモロコシならば、「遺伝子組換えではない」と記載されてきたのが現状である。米国産であっても、もちろん管理されていれば、そう記載されていた。

これを消費者庁、つまり政府は、混入率が0%でなければ「遺伝子組換えではない」と書けないように改正をするという。ある意味厳密になったわけだ。良い事ではないかと一瞬思うが、現実はどうなるかといえば、「遺伝子組換えではない」という表示がなくなる事になる。何故かと言えば、現実問題、混入率0%は、企業にとっては不可能な数字だからだ。

他国からの輸入を受け入れている商社の倉庫やトラック、加工企業の加工機器に、遺伝子組換え作物が混入する可能性は排除できない。うっかり混入してしまった商品を、「遺伝子組換えではない」と記載して販売したら、企業は名指しで批判され、大問題になるだろう。

つまり、「遺伝子組換えではない」という表示が難しくなる。現状を踏まえて考えてみると、表示が消えるという事になるわけだ。政府は、意図的に消すつもりなのかもしれない。

この事について、0%より多く~5%以下の混入に関して、別の表示を設けるべきだという意見も出してはいる。空白地帯になるからだ。既に遺伝子組換え食品かどうかなど、全く分からないというのが現状なのだから、大した問題ではないと考える向きもあるのだが。とはいえ、やはり、知識をつけておくというのが、一番の自衛方法なのは間違いない。

ではどうするか。自分で大豆を育ててみる。その大豆で、味噌、醤油、豆腐、納豆を作る。事実上、「遺伝子組換えでない」という表示は味噌や豆腐、納豆ぐらいにしかないから、それで事足りる。

あと、お菓子里に記載されていたりするが、そもそもお菓子里は「遺伝子組換えではない」と書いてあっても、添加物として十分に使用されているので、食べなきゃそれで良い。自分の身は自分で守らなくてはならない時代という事である。